

「信州国際音楽村公園」バラ園づくり事業

取組に至る背景・事業の目的

上田市の信州国際音楽村公園は、3月はスイセン、7月はラベンダーの花で有名であるが、市民からは四季を通じて花を楽しみたいとの要望が多く寄せられていたことから、バラの会と市民が協働でバラ園の整備を行い、市民の交流と親睦の輪を広げながら、四季を通じて花やみどりを楽しむことができる公園づくりを推進することとした。

事業内容

- 花壇土づくり事業
 - ・花壇の除石及び植穴掘り（4月）
 - ・施肥及び耕耘（9月）
 - ・腐葉土、堆肥づくり、花壇づくり（11月～3月）
市民、小中学生との協働で実施（参加者 延べ100名）
- バラ等の植栽事業
 - ・バラ園へのバラ苗等の植栽（4月～11月）
バラ 324 株、宿根草 300 株を植栽。バラアーチ 1 基、トレリス 7 基を制作・設置
 - ・バラの里親事業
植栽するバラ苗の里親を募集し、里親による苗の植え付けと管理を実施（応募者 17 名）
 - ・バラの植え方・育て方教室の開催（4月～3月）
4回開催（参加者 延べ336名）
 - ・樹名板及び案内板の設置
- バラ祭りの開催
 - ・バラ祭りの開催（6月8日～6月16日の9日間）
 - ・市民園芸相談所の開設（6月8日、9日、15日、16日）
バラ祭りの会場で園芸の専門家3名が市民の相談に応じた（相談者 延べ43名）
 - ・講演会の開催（6月9日 受講者 188名）



【バラ園の様子】



【講演会「イングリッシュローズの楽しみ方」】

事業効果

- イングリッシュローズを中心にバラ等を植栽することにより、6月、10月にも花を楽しむことができるようになり、花やみどりのある景観形成に配慮した品格あるまちづくりの推進に寄与した。また、信州国際音楽村公園の来場者の増加にも貢献した。
- 講習会等に参加された多くの方々にバラや草花の育て方の知識を深めていただくことができた。
- 多くの市民や小中学生がバラ園づくりに携わったことで、バラを通じた交流と親睦の輪が広まった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 工夫・苦労した点（財源の確保）
 - ・講習会等への参加者を増やすことで事業収入の増収を図るため、「バラの会」の会員により、公共施設へのピラの配布や過去の講習会参加者、地域のバラの愛好家へのダイレクトメールの送付等を行い、参加者を募った。
 - ・（一般財団法人）信州国際音楽村、関係企業及び個人からの助成金や寄付金を募った。
- 今後の取り組み
 - ・完成したバラ園の維持管理を行うと共に、バラ園の拡張及び施設の充実を図って行きたい。

【選定のポイント】

地域住民と協働してバラ園づくりに取組み、バラの育て方講座、バラ祭り・講演会には述べ約 500 名が参加するなど、多くの住民の交流・親睦が図られた。

団体名	信州国際音楽村公園バラの会（上田市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	信州国際音楽村事務局 0268-42-3436	事業費	1, 845, 251円
		支援金額	1, 376, 000円